

第 42 号

発行
福岡県地域婦人会連絡協議会
〒812-0046
福岡市博多区吉塚本町13-50
発行責任者 木下 幸子
TEL 092-643-1440

県婦連 小くおか

- *家庭・地域の教育力を高め、青少年の健全育成に努めよう。
- *審議会等政策決定の場へ女性の参加を促進しよう。
- *循環型社会をめざし、地球環境を守ろう。

『全国大会を成功させましょう』



福岡県地域婦人会連絡協議会
会長 木下 幸子

新たな年を迎え、皆様方には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。福岡県地域婦人会連絡協議会にとりましては、四十七年ぶりの全国大会を開催することとなりました。

昨年度から実行委員会を立ち上げ、準備を進めておりますが、いよいよ本番と思うと身が引き締まる思いです。

日頃より会員の皆様には、それぞれの地域で婦人会活動に積極的に取り組んでいただいておりますことに感謝申し上げます。

さて、県婦連は、ご承知のとおり現在多くの課題を抱えております。

会員の減少、少子高齢化や社会の急激な変化にどのように対応し、課題を解決していけばよいのかを全国の皆さんと考える大変よい機会だと思っております。

この全国大会を契機に、これまでの活動を見直し、地域の方々に婦人会の存在を確認していただき、地域にとって必要不可欠な組織であることを強くアピールしたいと考えております。

昨年県婦人会では、六月の研修会に於いて、『東日本大震災の支援活動と地域コミュニティ』と題して若手県婦人消防連絡協議会会長の千葉と

き子氏に当時の震災の体験を語っていただきました。

私たちは、命の大切さや防災に対する心構えを学習し、防災意識の高揚を図ることができました。

震災から三年九ヶ月が経ちましたが、得られた教訓を忘れることなく、被災地の一日も早い復興を願って、これからも支援を続けて参りたいと思っております。

また、十一月には「九州・沖縄ブロック女性（婦人）防火クラブ幹部地域研修会」や交通安全母の会リーダー研修会を開催いたしました。

このような研修会を通じて、会員の意識の向上と連帯感を高めていきたいと考えております。

会員皆様と共に全国大会を成功させるために頑張りましょう。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



秋の園遊会にご招待されました

受賞おめでとうございます

永年功労賞



石橋 重子 (水巻町)

三度目の受賞です。何よりもうれしかったのは、十二年間続けた婦人会長としていただいたことです。これからも頑張ります。

交通安全感謝状受賞



福島 ミエ子 (添田町)

この度、表彰を受け会員一同喜んでおります。これまで「夏の交通安全キャンペーン」では英彦山方面に行くドライブにお茶と手作りのチラシを配布したり、冬は一人暮らしの高齢者に夜間歩行用のタスキを配布する等の活動をしてきました。一人でも事故防止につとめたいと思います。

防犯栄誉貢献銅章



吉留 節子 (糟屋郡宇美町)

地域安全活動
安全で安心なまちづくり

2月は「北方領土返還運動全国強調月間」です。

平成27年北方領土返還促進福岡県民集会のお知らせ

■目的 北方領土問題に対する県民世論の喚起を図ることが当会の目的です。特に北方領土問題に対する若年層の認知を高めることが問題解決には不可欠なことだと考えます。今回の県民集会は例年と趣向をかえ、多くの子供たちに参加していただけるよう終戦直後の色丹島を舞台にしたアニメ「ジョバンニの島」の放映を主に開催します。

■日時 平成27年2月21日 (土) 午前10時～

■場所 「パピヨン24 ガスホール」



一般社団法人 日本会議推進委員会 創立50周年記念作品

活動は楽しく

県婦連副会長(那珂川町) 池田 穂波
「私でよかつたら」「私でお役に立つなら」と地域を舞台にボランティア精神を發揮して活動。たまにはイヤなこともあります。がいつの間にか楽しさに...に変わります。
今年(四十七年)の全国大会。心に残る楽しい学習の場をみんなで作りましょう。

仲間入り一歩前へ

県婦連副会長(太宰府市) 野島 輝美
婦人会も高齢化して今年の狙いは、仲間を増やすこと。
婦人会ってナーニ?との質問が多い。組織の中に人ならない限り分らない。「メリット・デメリット」の答えは、後で結果が出る。まず学ぶことの楽しさを知ろう。自分を磨こう。フアイト!!!まず一歩!

地道な活動の継続を

岡垣町婦人会会長 吉田 春枝
先人から引継いだ伝統ある婦人会が、現在高齢化が進み会員も減少しつつあります。皆と話し合い改善しながら、楽しく無理のない活動を継続していきたいと思ひます。

新しい年にむけて

桂川町婦人会会長 安河内 浩子
昨年環境大臣表彰を頂きました。今年(高)一層、美しい花々が咲くように環境保全の輪を拡大していきたいと思ひます。
又「会員になって良かった」と思えるような研修会等もしていきたいと思ひます。

今年の全国大会開催に向けて皆様の参画を期待して!

飯塚市婦人会会長 井上 節子
地域婦人会として地域社会に密着しつつ、社会教育団体として教育・町づくり・子育て・地域福祉、男女共同参画推進、環境、防火・防災、結核予防、食育等に取り組んでいます。
これからの防災学習・訓練・災害弱者・子どもに視点をあてた、全国レベルの活動内容にして地域の実情や他の団体の情報共有を図り、地域の活性化に取り組んで参ります。
皆様の力で全国大会を成功させましょう!!

「広がれ」会員の輪

小竹町婦人会会長 峯岡 準子
全国大会では少しでも協力できればと考えています。その為には、地元で活躍して人望を集めて婦人の輪を強め、広げていきたいと思ひます。

「ひとりでも多く」

水巻町婦人会会長 石橋 重子
来年度の抱負として、何と言つても会員増強を考えています。
創立二十年ともなれば、古い方は高齢となり、良く協力して下さった方が次々に亡くなられたり、施設に入所されたりして、毎年会員が少なくなり残念に思っています。一人が一人ずつ連れてきて下さいとお願ひしています。まず十名が目標です。

会員増をめざして

添田町婦人会会長 福島ミエ子
会員が年々減少していますが、今年(高)は十名の新規会員を増やすため、会員一同努力したいと思ひます。

継続は力なり

庄内女性の会会長 野上 君子
県婦連に加入して早、二年になりました。会員の思いを大切に、細く長く色々な情報を発信していきたいです。

会長を失つて

遠賀郡遠賀町婦人会会長 古場 弘子
頼りにしていた武富会長が昨年八月病気でなくなられた後、悲しみを乗り越えて残された会員と共に、会長の足跡をたどりながら頑張つてゆきたいと思ひます。

感謝の気持ちで前進

春日市婦人会会長 小田 晴美
新しい年を迎えると気持ち引き締まり年頭に誓います。
深さと強い心を持ち続けて前に進もうと。一期一会を大切に...

「いのちの絆・婦人会」 つづいてこそ道

筑紫野市婦人会会長 萩尾 房子
昭和四十七年に発足し、これまでの歴史を大切に、各地域婦人会や全国の婦人会の方々と連携して、様々な問題解決に積極的に取り組んでいきます。

「継続は力なり」

糟屋郡宇美町婦人会会長 吉留 節子
糟屋郡宇美町婦人会は交通安全、青少年健全育成、防災等、色々な行事研修会に参加しながら、人との結びつきの大切さを大事にして活動していきたいです。

「飛躍の一年に」

福津市地域婦人会会長 井手 和子
今年(高)は飛躍の一年になる様に、全国地域婦人団体研究大会の成功や、婦人会活動の地域との連携をアピールしていこうと思ひています。

心をひとつに

糸島市婦人会会長 中村 妙子
羊の暖かい毛に包まれ困難な事に当たつても心を一つにして乗り越えましょう。県婦連の力を發揮して!!

自分のため 地域のために

久留米市女性の会会長 池田 博子
今年も平和・人権・環境問題等の学習や、地域の行事に積極的に参加していろいろな人との「出会い」を大切に。そしていつも「ありがとう」の感謝の声がみえる組織の拡大につとめたい。

楽しく、元気に

田上町地域婦人会会長 横溝 敏子
社会教育団体の婦人会として、地域の為にみんなで協力し、支え合い、楽しく元気に、婦人会をアピールできるような活動を続けられることを願っています。

「多くの皆さんに支えられて」

朝倉市女性連絡協議会会長 篠田紀代子
朝倉市の中で五十年以上続いた婦人会活動を継続していくのも並たいていの事ではない。
多くの方々に支えられて、婦人会の目指す目的を充分理解しながら今に至っています。
本来の姿には、もう一歩という所までできています。頑張ります。

やればできる

うきは市女性連絡協議会会長 白井 静子
会長として二年目を迎えました。今年(高)は市に認めて頂き、他団体と共に連携を取つて市を支える活動をする「やれる人がやれる事をやる」「やればでき

る」を信じて全会員で頑張ります。今年もよろしくお願ひ申し上げます。

元気が一番

大木町婦人会会長 廣石 福子
昨年は自分の体力を過信して体調を崩し、みなさんに迷惑をおかけしました。今年(高)は健康第一でみなさんと心を一つに、全国大会に向けて微力ながらがんばりたいと思ひます。

「今年の抱負」

柳川市地域婦人会連絡協議会会長 竹井 澄子
一、婦人会の活動内容の充実
二、地域活性化、市の行事への協力
三、さげもん、柳川まり教室の充実
四、全国婦人会大会への協力

明るく元気に

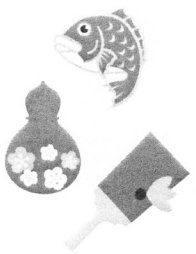
八女市婦人会会長 野間口幸江
こんにちは。元気ね。またね。以前より声は小さくなつたけど婦人会の心意気は皆もっています。少人数になりましたが婦人会の活動を地域に根付かせたいと思ひます。

年頭に当たり思うこと

筑後市連合婦人会会長 大藪富士子
最近、高齢化、少子化、核家族化、により地域のつながりが希薄になる昨今です。
子どもたちの健全育成をはじめ、女性としての経験と感性でもって明るい住み良い地域づくりに「安全安心な町づくり」を推進し元気なまちをめざしたいものです。

「足元に根を」

大川市連合婦人会会長 川野栄美子
創立六十周年を機に、婦人会はこれから何をすべきかが問われる年となります。防災や高齢者の居場所づくり等、足元に根をはつた活動に取り組んでまいります。



平成二十六年年度総会

平成26年6月5日 福岡リーセントホテル

今年是小川県知事、加地議長他、沢山の来賓の方々をお迎えして開催し、本年度の活動方針が示されました。私達も仲良く元気に色々な活動と研修を実践しなくてはならないと心に誓った一日でした。

午後からは「東日本大震災の支援活動と地域コミュニケーション」の演題で岩手県婦人消防連絡協議会 千葉とき子会長の講演がありました。

当たり前の毎日の暮らし、幸せな生活を未曾有の大災害で何もかも失われた事、日頃より防災のことを学んではいいても、いざとなるとパニックに陥るのは致し方ない事でしょう。

それでも婦人会員が一丸となって復興に向け活動される、慈愛の心が溢れています。皆様の健康を遠い福岡より応援いたします。(野間口)



千葉とき子 会長



大韓赤十字社釜山支社との交換研修会に参加して

五月二十日から三泊四日の日程で、韓国釜山を訪問しました。本県からは総勢七名で、県婦連からは横溝さんと私の二名でした。

釜山支社では、支社の見学をはじめ血液センターの視察、製パン体験、給食所体験等の研修を行いました。支社はボランティアを中心とした社会的な活動に取り組んでいます。血液センターは最新の設備が整備され感心しました。また、学生の献血者の率が非常に高いことに驚きました。(ちなみに、二十五歳未満の献血者の率は日本約18%、韓国約70%)

さらに、公園で行われている無料給食活動を目的にしました。低所得者層の高齢者を対象に炊き出しを行い、一ヶ月間隔



で場所を移動しているそうです。ボランティア活動に関する考え方や制度の違いはありますが、改めて自分たちの活動について考えさせられた研修でした。(福島)

リーダー研修会

7月8・9日(火・水) ホテル・マリノアリゾート福岡



九州大会へ向けて学習

複十字シール運動

長引く咳は赤信号！ まずは検診!!



9月23日 天神大丸エルガーラに於いて啓発運動キャンペーン



8月7日 山崎副知事を表敬訪問

第66回九州地区地域婦人大会 拓こう!築こう!明日の婦人会を(佐賀)

～認め合い 支え合う 社会をめざして～

平成26年10月7日・8日 会場:佐賀県・唐津シーサイドホテル 分科会討議(組織・教育・福祉・くらし)

大会宣言

私たち、九州各県の地域婦人団体1,000名余は、ここ佐賀県に集い「拓こう!築こう!明日の婦人会を」を大会テーマに掲げ「第66回九州地区地域婦人大会」並びに「平成26年度全地婦連九州ブロック会議」を開催致しました。

本大会では、「組織」「教育」「福祉」「くらし」に課題をしばり、九州八県の会員が情報を交換し合う中で私たちの進むべき方向性を討議致しました。

その結果、地域を基盤とする婦人団体として安全で安心な社会を形成するために、一人ひとりが地域づくりや社会づくりに参画し、知恵を出し合い、絆を深めていくことが必要であると再確認しました。

私たちは、本大会を契機に改めて地域婦人団体の責務を自覚し、地域の核となる婦人会組織力の向上を図り、共に支え合うぬくもりのある地域社会の創造に向けて努力することを宣言し、次のことを決議します。

決議

- 1 組織力を向上させるため、自己研鑽し見える活動に努めよう。
- 1 行政や他団体との絆つくりのため、協働と交流に努めよう。
- 1 子どもたちが安全に暮らせる地域社会づくりのため、防犯・交通安全対策に努めよう。
- 1 子どもたちの明るい未来のため、社会教育関係団体の役割を担う婦人会として子育て支援・青少年健全育成に努めよう。
- 1 食の安全を守るため、地産地消を推進し消費者の資質向上に努めよう。
- 1 減災・防災に女性の視点を活かし、安全安心なまちづくりに努めよう。
- 1 元気で長生き仲間づくりのため、支え合い共に生きる福祉の地域づくりに努めよう。
- 1 男女共同参画社会の実現に向け、女性の意識を更に高め政策決定の場や各種審議会等への参画に努めよう。
- 1 オスプレイの安全性の確認や説明が不十分なまま強行する政府に、飛行訓練の中止並びに配備の再検討を要望しよう。
- 1 北方領土四島返還の早期実現に向け、更なる運動を展開しよう。

平成26年10月8日 第66回九州地区地域婦人大会 平成26年度全地婦連九州ブロック会議

「ようこそ」県婦連へ

どの団体でも悩んでいる組織や会員増について活発な意見が交わされました。



6/17 姫路市婦人会



7/12 南九州市婦人団体連絡協議会



8/21 大邱女性家族財団(韓国)



「世界に誇れる安心、安全な“うつくしま”ふくしまの新生」～次世代に持続可能な環境を～

全国地域婦人団体研究大会
10月19・20日(日・月) 福島県



記念講演 菅原文太氏

がん征庄全国大会
9月5日(金) アクロス福岡



小川知事のご挨拶

福岡県飲酒運転撲滅キャンペーン
8月25日(月) 博多駅前



全国でただ一人殉職警察官が祀られている増田神社に参拝しました。

交通安全母の会
リーダー研修会
11月18日(火)
飲酒運転撲滅について
福岡市のマイマイスクール笹丘校に於いて開催されました。講師はマイマイスクールセンター長大江久則氏。福岡県では飲酒運転が減ったといってもまだまだ全国ワースト10位内という事です。



健康21世紀福岡県大会
11月16日(日) 筑後市九州芸文館
「家族みんなで健康子エック」

去る八月二十日、享年七十二歳。県婦連の発展、充実につくされました。ご冥福をお祈りいたします。

遠賀町会長 武富 富子様ご逝去

消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律(抄)

(自主防災組織等の教育訓練における消防団の役割)
第十八条 市町村は、消防団が自主防災組織及び女性防火クラブ(女性により構成される家庭から生ずる火災の発生の予防その他の地域における防災活動を推進する組織をいう。)、少年消防クラブ(少年が防火及び防災について学習するための組織をいう。)、市町村の区域内の公共的団体その他の防災に関する組織(以下「女性防火クラブ等」という。))の教育訓練において指導的な役割を担うよう必要な措置を講ずるよう努めるものとする。

(自主防災組織等に対する援助)
第十九条 国及び地方公共団体は、自主防災組織及び女性防火クラブ等に対し、教育訓練を受ける機会の充実、標準的な教育訓練の課程の作成、教育訓練に関する情報の提供その他必要な援助を行うものとする。

(市町村に対する援助)
第二十条 国及び都道府県は、市町村が行う自主防災組織及び女性防火クラブ等の育成発展を図るための取組を支援するため必要な援助を行うものとする。

法律的に初めて位置づけられました。平成25年12月



一般社団法人 日本防火・防災協会
会長 秋本敏文氏



福岡県発表者
八女市 野間口会長

講師、河合宏一氏(総務省地域防災室長)の「地域防災力の充実強化への取り組み」について勉強。又、八県の代表者からそれぞれ地域活動発表がありました。

平成26年
11月4・5日

九州・沖縄ブロック女性(婦人)防火クラブ連絡協議会幹部地域研修会
福岡リーセントホテル

地域だより

「ほかほか福祉のつどい」
福津市地域婦人会

市民の皆様を楽しみながら、福祉への理解を深めていただくとともに地域で展開される福祉関連事業や、ボランティア活動などについて、知っていただく機会を提供するために、ほかほか福祉のつどいが、開催されます。

幅広い意見を集約しながら、企画、運営に携わり、福津市内の福祉団体ボランティアなどの力を結集して、ほかほか福祉のつどいを開催しています。19の団体がそれぞれの自分たちのしたい事に力を入れます。私達婦人会は、当初から参加し、うどん・わかめごはんを販売しました。毎年完売で、売り上げは余り多くありませんが、利益は二の次でおいしく食べられています。前日から、用意や買い物を手分けして、二人でも多くの会員さんに参



2014.10.19



青年団もいっしょに

加してもらおうように、声掛けをしながら楽しい一日を心がけています。今年にはAKB48のフォーチュンクッキーの踊りを、当日の終わりに、自分達の販売場所の前で、会員みんなで、手に手に「しゃもじ、しゃくし、ひしゃく、うどんすくい」の網・鍋(ふた)などを持って踊りました。ちなみに私は、婦人会の旗を持って飛び廻りました。このほかほか福祉のつどいも今年で終わりと聞かれましたが、また、違う形で再開されると、言うことです。来年を楽しみにしています。

「福岡刑務所矯正展」に参加
糟屋郡宇美町婦人会

毎年受刑者の製作した家具、靴、バック等のパザールが行われます。今年は、元魁皇関が参加。矯正展を盛り上げてくれました。婦人会では、青年団と一緒に、かしわごはん、豚汁、廃油セッケン等を販売しました。この日は天気が悪く、人が少なかつたけど、たくさんの方との交流が出来ました。

編集後記

皆さんから沢山の原稿を寄せて頂き、ありがとうございました。今年も全国大会が開催されます。会員の皆様の大きな力を期待しつつ、頑張ります。

編集委員 池田穂波、廣石福子、吉田春枝、小田晴美、吉留節子